

乳房再建時の陰圧閉鎖ドレーンに関する患者さんの情報の研究利用についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センター形成外科では、「ティッシュ・エキスパンダー(Tissue Expander)による乳房即時再建時の陰圧閉鎖ドレーン抜去時期についての検討」を行うことになりました。

この研究の目的は、乳房再建の患者さんの陰圧閉鎖ドレーンの抜去時期を調べて、ドレーン留置の長期化にどのような因子が影響を及ぼしていたかを明らかにすることです。

この研究のため、2020年4月1日より2024年8月31日までに治療した方の診療録の調査を行います。対象となるのは乳がん手術時に形成外科でエキスパンダー挿入術を行った方で、調査項目は個人情報を含まない医学的な(年齢、既往歴、手術内容、術後経過など)のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータは、本研究の責任者のもとで厳重に管理されます。今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2024年12月

研究責任者

東京医療センター 形成外科

岡 愛子

連絡先 03-3411-0111(代表)